

# 月刊マガラボ

Vol.01  
2025.5.1



# 昇マラボ Vol.01

2025.05.01

## 留学生の自己紹介

今回はディーさんに自己紹介をしていただきました！  
よろしくお願いします！！



- ◆名前 DI XIQING
- ◆年齢 28歳 誕生日 1997.6.28
- ◆研究テーマ Prosthetic Hand Control System depends on Eye Tracking, Computer Vision, and EMG
- ◆研究内容 Human behavior often follows the pattern where the eyes see an object first, and then the hands take action. Therefore, I would like to build upon the CPS LABO vision-based prosthetic hand by adding a visual tracking device as a new interface.
- ◆研究室の皆さんにメッセージ Don't put off today's work until tomorrow.

## 1年間の予定(B4向け)

新学年になったということで、B4の1年間の予定をお伝えします！  
大学院に進学予定の方は7,8月に忙しくなりますので頑張ってくださいね！

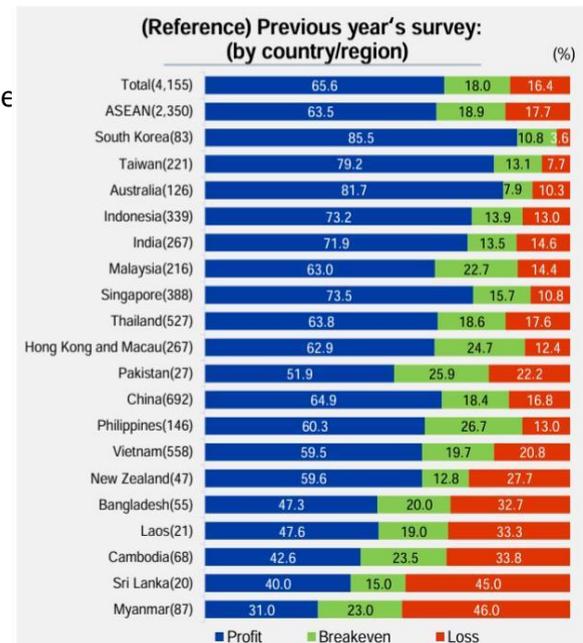
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上旬						中間予稿					卒論最終 卒論予稿	
中旬	方針決定, システム作成など					中間発表	実験, 論文作成など				卒論発表	
下旬					中間予稿 初稿					卒論初稿		卒業

## The Rise of Japanese Business in Indonesia

According to Japan's Ministry of Foreign Affairs (MOFA), nearly **2,000** Japanese companies are operating in Indonesia, and as of 2023 there are about **15,000** Japanese nationals working there.

Several factors make Indonesia a particularly attractive destination for Japanese investment:

- **Large and growing consumer market** – With more than 270 million people and a rapidly expanding middle class, Indonesia offers a vast customer base for Japanese products and services.
- **Young, skilled workforce** – A sizable working-age population supplies a competitive, promising labor force for industrial growth.
- **Supportive government policies** – The Indonesia–Japan Economic Partnership Agreement (IJEPA) provides incentives such as tariff reductions and streamlined investment procedures, fostering a business-friendly environment.
- **Stable economic and political climate** – Indonesia's relative stability ensures long-term operational security. A 2023 JETRO survey showed that **71.4 %** of Japanese firms in Indonesia expected to post operating profits—the highest rate among ASEAN countries.



Taken together, these advantages make Indonesia a strategic and highly attractive springboard for Japanese companies looking to expand their presence in Southeast Asia.

Source: Press release issued on November 28, 2023.  
Japan External Trade Organization (JETRO) Research and Analysis Department December, 2023

## 研究とは何だろう ～三つの軸から考える～

卒研から始まる研究は、大学教育の要だと思っています。研究室に配属されるまでは、知識を蓄えることが中心でしたが、今後はその知識を活かすことに考えをシフトして下さい。何のために知識を蓄えて、何をしてこれから生きていくのか。大袈裟に言えば、その第一歩の練習をするのが大学の研究室の役割ではないかと思っています。春に皆さんの本分が学生であることと、主体的な行動力が重要であることを話しました。中途半端だと愚痴が出る、いい加減だと言いつつ訳が出る、一生懸命だと知恵が出ると言いますが、是非、知恵と力を出し切って欲しいと思います。

今回は、研究のレベルについて書いて欲しいとのリクエストをもらったのですが、それは、第50号(2024年11月号) (<http://cps.ip.is.saga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/2024-11.pdf>) でも少し書いたので、ここでは私の考える研究について、3つの軸で紹介してみます。

### 【1. 新しい科学を生み出す研究（絶対的な価値）】

全く新しい現象や法則を発見するような、世界を変えるような研究で、研究者が目指すべき最高到達点です。どこまでも深く、ストイックに探求する必要があります。自身の努力はもちろんですが、環境であったり、時代であったり、運であったりと、様々な外的な要因も絡む中で、一生をかけて1つあるか/ないかのレベルだと思います。残念ながら私にはまだそれはありません。私の知り得る範囲でもそのような研究者は周りにいません。

### 【2. 世の中に貢献する研究（社会的な価値）】

1.に及ばずとも、産業や社会、アカデミアに影響を与えるような、どこかの研究者に影響を与えるような研究は沢山あります。そして、ここに属する研究は、ある程度レベルを明確にする手段（外的な評価）があります。インパクトファクター（IF）や、Q1（上位25%）～Q4（下位25%）などのレベル指標です。簡単に言えばどれだけの多くの人に注目されているか？です。詳しくは、先に紹介した記事 (<http://cps.ip.is.saga-u.ac.jp/wp-content/uploads/2024/11/2024-11.pdf>) で紹介しています。世の中に貢献する研究成果は、研究者や研究室にとっては責務であり、学生にとっては、自身の研究能力を示す明確な証明になると思っています。

### 【3. 自分にとっての研究（自身の価値）】

1.2.とは別次元の観点で、研究者にとって、おもしろいか/そうでないかは、1番大事なことだと思っています。空を飛びたい、宇宙に行きたい、みたいな「夢」は、科学を進歩させる最も基本的な原動力です。その人なりの価値基準で、たとえ自己満足であったとしても、はじめから否定されるべきものではないと思っています。（結構否定していることもあるかも知れませんが、...とりあえずやってみるのも大事なことだとは思っています。）そのような一面もないと、研究は辛いだけですよね。

博士号をとって研究者を目指す学生には、3つの軸が揃った研究ができるように夢を持って取り組んで欲しいと思っています。時間はたっぷりありますが、「少年易老学難成」であることも忘れずに精進して下さい。それ以外の学生には、2,3の軸を満たすような（できれば2.において高いレベルにあるような）、研究をして欲しいと思っています。もちろん、責任や厳しさを持って3.を貫くのも全然アリです。いずれにしても、皆さんそれぞれが、夢と厳しさを持って研究に取り組める研究室でありたいいつも思っています。

## 就活体験記

- 内定先：NEC 就活期間：5か月
- 就活の流れ：就活アプリ登録→夏のインターン→早期選考→面接→内定
- アドバイス：就活は本当に早めに動いたもの勝ちです。  
業界/業種研究や自分がどんな仕事がしたいのか、いざ決めろと言われてもなかなか難しいので「なんとなく気になるな」というフワッとした理由でもいいので気になった企業の説明会や合同説明会には積極的に参加しましょう。また、ここで意外と大切なのが、研究室の仲間や友人との情報交換です。ここで自分にはなかった視点や新しい発見などがあるため複数人で協力して就活を乗り切れることをオススメします。そうして業種や業界をある程度絞った後は夏インターンから全力を出してインターン資格を取り、早期選考につなげましょう。
- 反省点：反省点としてはもう少しほかの業界や業種を幅広く見て決めてもよかったかなと思っています。  
自分は就活するうえでこれらを早い段階から決めてしまっており、希望職種以外は初めから選択肢にすら入れていなかったため、他の選択肢を見て話を聞いた後に選んでもよかったかなと思っています。

執筆：江口雄大

NEC本社内部→

<https://www.slda.co.jp/cases/projects/nec-super-tower-lower-part-renovation/>



## 編集後記



こんにちは、広報の姫城です。  
今回の表紙はスポーツ大会での福田先生(青)のゴールシーンです！  
なんと単独で6点決め、得点王でした！

5日間くらいは筋肉痛でしたが、たまには身体を動かすのも良いですね